

『ユニセフ日本型子どもにやさしいまちづくり事業』 正式開始イベント』について

町田市が参加する日本ユニセフ協会主催の『ユニセフ日本型子どもにやさしいまちづくり事業』正式開始イベント』が以下のとおり開催されましたので、ご報告します。

○イベント概要

日 時: 2021年6月22日(火) 14時～15時15分

開催方法: オンライン(ZOOM)

内 容: 第一部 概況説明

「ユニセフ日本型 CFCI の仕組み」木下勇氏(大妻女子大学教授/日本ユニセフ協会 CFCI 委員会委員長)

「町田市の CFCI の取り組み」石阪市長

第二部 ディスカッション「CFCI が果たす大きな役割」

司 会: 木下勇氏(大妻女子大学教授/日本ユニセフ協会 CFCI 委員会委員長)

パネル: 石阪市長、高須幸雄氏(日本ユニセフ協会副会長)

第一部 石阪市長は、町田市の取り組みについて、2018年度に日本ユニセフ協会から委嘱を受け、「日本型モデル」の有効性を2年間検証してきたこと、「日本型モデル」の検証に加えて「子どもにやさしいまちチェックリスト」を、関係部署とともに町田市の具体的な施策や事業と関連付けた独自の形式に発展させたことなどを報告しました。

第二部 石阪市長は、木下勇氏及び高須幸雄氏とともに、CFCI を推進する際の分野横断的な手法や市民団体等との連携の重要性、SDGsとの関連性について、ディスカッションを行いました。

「子どもの意見を聴いて推進する」
子どもにやさしいまちづくり

～町田市のCFCIに向けた取組について～

 町田市長 石阪 丈一



子どもにやさしいまちづくり事業(CFCI)とは

ユニセフが主唱し、「子どもの権利条約」を自治体レベルで具体化するための取り組みです。日本では、日本ユニセフ協会が有識者や自治体関係者とともに CFCI 委員会を組織し、自己評価型の「日本型子どもにやさしいまちモデル」を作成し、国内での展開を目指しています。自治体には、CFCI 委員会が作成した「子どもにやさしいまちチェックリスト」を用いて、子どもに関する施策の評価を行い、外部評価と公表を経て、施策を改善することで、「子どもの権利条約」を具体化することが求められています。

担当：子ども生活部 児童青少年課